



お話の学習指導案



教育目標

題名

・ かえるでおとうさんをたすけた少年、ホンソム

年齢

・ 児童(6~9歳)

主題

・ 目標：かえるでおとうさんをたすけたこうこう（孝行）むすこのホンソムのちえについてまなぶ。

・ 主題：ちえ

キーワード

・ ちえ, ホンソム, ホン・オンピル, かえる, 大きなへび, りょうぎせい(領議政), こうこう(孝行)

韓国文化

・ 目標：おとうさんのホン・オンピルとむすこのホンソムのかぞくあいをする。

・ 要素：りょうしんと子どものかんけい、こうこう(孝行)とあい

韓国語

・ 目標：ホンソムとかえる、そして大きなへびのこうどうをひょうげんする、さまざまなぎたいごをならう。

・ 単語：아장아장(よちよち)、폴짝폴짝(ぴょんぴょん)、스르륵스르륵(するする)、옆치락뒤치락(おいつおわれつ)

・ 表現：
아장아장 걷다(よちよちあるく)、
폴짝폴짝 뛰다(ぴょんぴょんとぶ)、
스르륵스르륵 움직이다(するするとうごく)、
옆치락뒤치락하다(おいつおわれつになる。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

今日、おばあちゃんがするお話は、タイトル、さっさと出てこい！

“かえるでおとうさんをたすけた少年、ホンソム”です。

みなさん、‘ゆうきがある。’と‘ゆうかんだ。’は、どういういみですか？こわくてもそれをうちかって、げんきに力づよくこうどうすることをゆうきがある、ゆうかんだといいます。みなさんもゆうかんにこうどうしたことがありますか？ホンソムはあぶないじょうきょうでかしこくお父さんをたすけた、ゆうきのある子どもです。どんなお話なのか、気になりますね？



お話の始まりの歌を歌う

“かえるでおとうさんをたすけた少年、ホンソム”のお話の中へしゅっぱつ！

♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。 パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかし、ちょうせんじだいに、ホン・オンピルだいかん【だいじん、ちょうかんとどうきゅう(同級)の位】がすんでいました。ある日、だいかんはゆかにねころんで本をよんでいたら、ついねてしまいました。そしたら、むねの上になにかあるように、いきぐるしくなりました。

“ううう、ああ。くるしい。”

目をあけてみると、だいかんはとてもおどろきました。とてつもなく大きなへびが、だいかんのむねのうえにのっていたのです。

“なんてこった、たいへんなことになった!”

大きなへびはまったくうごかず、しただけをぺろんと出しました。だいかんも大きなへびにかまれるかとおもって、まったくうごけませんでした。からだじゅうがだんだんこわばっていきました。

“どうしようか?”

そのときでした、おさないむすこのホンソムが、よちよちあるいてくるではないですか?だいかんはむねがドキドキして、とまりませんでした。もしかして、大きなへびがむすこのホンソムをかむかとおもい、ハラハラしていました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“あっちにいけ、あぶないぞ!”

だいかんは、むすこに目であいずをおくりました。はなしごえがきこえれば、大きなへびがうごきそうだったのです。ホンソムはそんなおとうさんをじっと見つめていました。

“すぐにいけ!”

だいかんは、むねがときどきしました。だいかんはまじまじとたっているソムが、とてもしんぱいでした。しかし、ソムはしばらくのあいだ立っていて、おとうさんと大きなへびを見つめていました。そしたら、わかったというように、気をつけてそとに出ていきました。

“ふゆー、よかった。”

だいかんはソムがすぐに大人たちをつれてくることをねがいました。しかし、じかんがすぎても、だれもあらわれませんでした。

“あ、このままむなしくしんでしまうのだな。天も、はくじょうだな。”

だいかんは、ためいきがおのずと出てしまいました。目からあつくなっとなみだがこぼれました。

そのとき、こそこそとだれかがちかづいてくるけはいをかんじました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“いや、ソム!”

だいかんは、目をぱっとあけました。ホンソムがまた一人できたのです。とてもおどろいただいかんは、どうしたらいいのかわかりませんでした。まちがったら、二人とも大きなへびにかまれそうだったからです。

“おねがいだ、ソム。すぐにむこうに言ってくれ!”

だいかんは、もういちど目くばせをおくりましたが、ソムはしりぞきませんでした。かえって、さっきよりもちかくにやってきました、そして、大きなへびに手まねきまでしました。

“こっちを見ろ。こっちにこい!”

ソムが大きなへびにむかって、いいました。そして、ゆかになにかをぽいっとおとしました。

“げろげろ!げろげろ!”

それはまさに、ふとった大きなかえるでした。ゆかにおちたかえるがびゅんぴゅんとはねだして、大きなへびがぎくっとなりました。そしたら、かえるにむかって、するするうごき出しました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“ぴょん!ぴょん!ぴょん!”

“するする、するする。”

かえるは 大きなへびにつかまらないようにと、力いっぱいはねました。大きなへびもかえるをつかまえようと、はやくはいました。大きなへびはあっというまに、だいかんのむねから下りていきました。

かえると大きなへびはおいかけおわれて、ゆかの下をすぎました。

“ふあー!”

だいかんはついに、らくにいきをすることができました。

いつのまにか、大きなへびはかえるをおいかけ、どこかにきえてしまいました。だいかんは、やっとおきることができました。

“ふゆー、たすかったな。ソム、こっちにこい!”

ソムはとことことはしってきて、おとうさんをぎゅっとだきしめました。

“もうだいじょうぶですか?”

だいかんもソムをぎゅっとだいてあげました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“おまえがわたしをたすけてくれたんだな。ありがとう!どうやって、あんなことをおもいついたのか?”

そしたら、ホンソムがおとうさんにくわしくせつめいしました。

“まちがったら、大きなへびによりおおくの人がかまれるかもしれないとおもって、大きなへびはかえるがすきだから、それをつかいました。それで、大きくてふとったかえるをつかまえてきました。”

だいかんは、りこうなむすこのあたまをよしよしとなでて、いいました。

“こわいかもしれないのに、ほんとうにかしこくて、ゆうかんだな!”

ホンソムはおとうさんがぶじで、ほんとうによろこびました。

だいかんとホンソムの話は、すぐにうわさでひろがりました。おおくの人びとが、小さくてもかしこくて、ゆうかなソムをととてもほめました。

“ソムはあとで、おおもものになるな。”

こうして、小さいときからりこうだったホンソムは、げんきにすくすくそだちました。文字のべんきょうもいっしょうけんめいにして、きんじょの人にもいつもやさしかったです。そして、まずしい人びとを見ると、たすけてあげようとどりよくしました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

大人になったホンソムは、むずかしいかきよのしけんにも、すぐにごうかくしました。いっしょうけんめいにはたらいて、たかいかんしょくについて、べんきょうもなまけずにしました。また、一番たかいかんしょくについたホンソムは、けんそんすることをみにつけていました。いつも人びとのことばに耳をかたむけました。

小さいときの村の人びとのいうとおりに、ホンソムはおおものになって、ちえとゆうきでおおくの人びとをたすけながらくらしたそうです。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたお話をよくききましたか？お父さんをたすけたホンソムは、なんさいぐらいでしたか？

ホンソムは、‘よちよち’あるくらい、小さかったです。‘よちよち(アジャンアジャン)’は、あかちゃんのあしどりをいいます。でもソムは、お父さんをたすけるために‘ぴよんぴよん(ポルチャクポルチャク)’とぶかえるをもってきて、大きなへびのまえにおきました。そしたら、大きなへびがかえるについて、‘するする(スルルクスルルク)’おいかけていきました。‘アジャンアジャン(よちよち)’、‘ポルチャクポルチャク(ぴよんぴよん)’、‘スルルクスルルク(するする)’は、うごきやじょうたいをまねたことばです。みなさんもこうどうをひょうげんする、さまざまなことばをもっとさがしてみましょう。

みなさん、ホンソムとお父さんがあぶないじょうきょうでも、おたがいにしんぱいするところをなんといいますか？

そうですね、‘あい’ですね。お父さんがむすこをあいするところ、むすこがお父さんをあいするところがあるから、ふたりはすべてのきけんからだっしゅつすることができました。とくに、子どもがりょうしんをあいしてつかえることをこうこう(孝行)といい、こう(考)をおこなう人を‘こうこうむすこ’といいます。だいかんみんこのこう(考)にきょうみがあるおともだちは、‘どらんどらん お話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、おばあちゃんと“かえるでおとうさんをたすけた少年、ホンソム”のおはなしをいちどまとめてみましょうか？

ホンソムは小さなこどもなのに、かしこくかえるで大きなへびをさそって、きけんにさらされたお父さんをたすけました。そして、文字のべんきょうをいっしょうけんめいして、かきよしけんにごうかくしたあとに、国のかんりしょく(管理職)について、たくさんの人びとをたすけました。ちょうせんで一番たかいかんしょくである、りょうぎせい(領議政)にもなんどもえらばれて、たみたちのためによいせいじをしたといえます。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

♪ いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。
さようなら！